

三島駅南口周辺開発 地下水対策検討委員会

第10回委員会

- 第9回委員会の概要等について -

令和7年1月31日(金)

1. 第9回委員会における

主な質疑・応答の概要

1. 第9回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(2)地下水調査結果	委員: <ul style="list-style-type: none"> 濁度の値がどの程度であれば濁って見えるのか。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 目安として、濁度が20度程度の場合に濁って見える。 採水時に透明に見えた場合でも、細かい粒子の影響により、実際に分析すると濁度が20度程度になる場合もある。
	委員長: <ul style="list-style-type: none"> 採水方法や観測井戸の状況に応じて、一時的に濁度の値が高くなることもある。 	
	委員: <ul style="list-style-type: none"> 西街区ホテル開業後に電気伝導度(EC)の値にばらつきが生じているように見える。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 測定機器を変更したことが原因である。適宜、測定機器を校正しており、測定精度に起因するばらつきであると考えている。
	委員長: <ul style="list-style-type: none"> 電気伝導度はイオンの総量に関係する。一方で、各イオンの濃度を示すヘキサダイアグラムの形や大きさは顕著に変化していない。 電気伝導度は現場で測定でき、水質の目安となる。 電気伝導度の値は、測定精度に起因するばらつきの範囲内にあると判断してよいと思う。 	
	委員: <ul style="list-style-type: none"> 地下水に異常が生じているか否かは、どのくらいの期間のデータ変動を見ることで判断できるか。 	
委員長: <ul style="list-style-type: none"> 小浜池の水位や地下水位は降水量に影響される。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 水質調査結果を踏まえて総合的に判断する。 	

1. 第9回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について	委員: <ul style="list-style-type: none"> 掘削土を埋戻す場合にセメントを添加しないか。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 山留工事ではセメントを使用しない。 余掘りは行わず、砂を充填して締め固める。
	委員: <ul style="list-style-type: none"> 会場に用意した試料の三島溶岩層はぼろぼろに見えるが、強度的に問題ないか。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 三島溶岩層全体で建物を支持するため、強度的に問題ない。
	委員: <ul style="list-style-type: none"> 通水口を流れた水はどこへ流下するか。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 透水性が悪い三島溶岩層の空隙や割れ目などの流れやすい箇所を流下して下流側に広がる。
	委員: <ul style="list-style-type: none"> 洪積第1粘性土層の地盤耐力と、新築建物と玄武岩溶岩の合計接地圧の差は1割程度で余裕がないように思える。1kN/m²でも上回ればよいのか。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 安全側になるよう、調査結果の中で最も強度が小さい値を採用して計算している。 計算上は1kN/m²でも上回れば問題ない。
	委員: <ul style="list-style-type: none"> 第7回と第9回委員会の間で、なぜ地盤耐力や圧密降伏応力の値が変化したか。 	応答: <ul style="list-style-type: none"> 地表面からの深さによって定まる。 実施設計で基礎標高が変わったため、値が変化した。 調査結果の中で最も強度が小さい値を採用して計算している。

1. 第9回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について	委員： <ul style="list-style-type: none"> 新設井戸としてNo.6とNo.7の井戸を設置したが、建物完成後は事業者と市のどちらが管理するか。 	応答： <ul style="list-style-type: none"> 事業者が管理する。データは引き続き市へ提供いただき、チェックする。 万一の場合には、市の観測井戸も含めて事業者が調査する。
	委員： <ul style="list-style-type: none"> 地下水に異常があった場合は、作業を中断するということでよいか。 	応答： <ul style="list-style-type: none"> 地下水に異常があった場合は市へ報告してもらう。 市の観測井戸も含めて調査し、工事に起因するものであるか判断する。